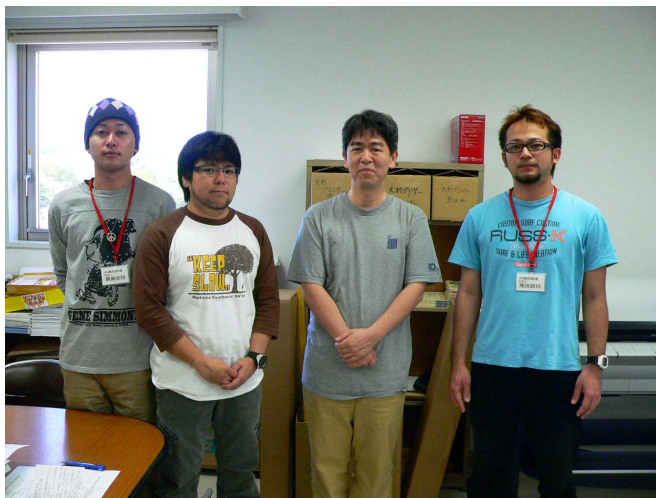


東日本大震災 沖縄民医連 支援ニュース

第14号 2011年4月11日(月) 電話:098-833-3397

**震災から1カ月！長期戦にそなえた息の長い支援を
震度6強の余震もまだ続く！**

第5陣 支援隊4人が出発



高嶺朝広医師を団長とする第5陣支援隊4人が6日(土)出発しました。

4月の全国支援は、地協単位でとりくまれ、九・沖地協は、坂総合病院を拠点に坂総合病院・長町病院・泉病院での地域支援または診療支援となります。10日～16日の1週間、県連第5陣の4人含め九・沖地協から15人が参加しています。第5陣は以下のみなさん(敬称略)です。激励してください。

- 高嶺朝広(医師) とよみ生協
- 高良誠也(看護師) とよみ生協
- 當山真吾(看護師) 沖協
- 黒島安将(事務) 沖協

4月は第6陣、第7陣まで派遣します

積極的な応募をお願いします
(事業所管理会を通じて)

- 第6陣 — 19(火)～26(火) 4人<看護師2人、事務他1人、介護職1人>
- 第7陣 — 24(日)～5/1(日) 4人<看護師2人、事務他1人、介護職1人>

**全国
支援**

**支援者到達(8日現在)：1,740人(医師283、薬剤師106、看護師511、
技術系301、事務他539)本日の支援者数は(移動含む)180、延べ数は
7,962人となりました！ 支援募金到達：1億400万円を超えました！**

緊急学習会

原発の「安全神話」と内部被曝

- 4月26日(火)17:30～
- 沖縄協同病院講堂(3階)

<講師> 矢ヶ崎克馬さん

(琉球大学名誉教授・県原水協代表理事)

原発の「安全神話」が崩れ、重大事態が続いています。政府と電力会社によって隠され続けてきた内部被曝について明らかにします。放射能被害から身を守るためにいま何が求められているか、医療の現場で必要なことなどについて学習します。

“何かしたい” “何かできる！” 貝殻シーサーで募金活動

4/6付「県連ニュース」で紹介している、にじ協同クリニックの玉城直子さん手作りの「貝殻シーサー」募金活動が話題をよんでいます。

「私にできる支援って何・・・？」そんな想いをみんな持っています。長期にわたる支援・救援が求められています。みんなができる息の長い活動のアイデアがありましたらご提案ください。また、実際やっていることなどをお教えてください。